



貸与制度利用の企業に聞く

このコーナーは当センターの「設備貸与制度」を利用している企業にメリットなどをお聞きし、皆さんの参考にさせていただこうというものです。今回ご紹介する(株)ベストは、設備貸与制度を創業以来7回利用し、売上を大幅に伸ばしています。設備貸与のメリットや、今後の見通しなどを、同社の藤原澄夫代表取締役様に伺いました。

「設備貸与制度」= 当センターが設備を購入し利用者に長期・低利で貸与する制度

Q. 貸与制度を利用したきっかけは？
またメリットはありましたか？

平成10年度に創業してから、7回利用させてもらっています。前に在籍していた会社でも利用していたので、この制度についてはよく知っており、利用しやすかったからです。

また、市中金融機関からの借入ではふつう担保が必要になります。特に創業間もなく実績のないところからは、担保を多めにとる場合があります。その点、貸与制度なら、通常担保を取らないので利用しやすいですね。

当社では、運転資金は市中金融機関、パソコンなど小さい設備投資は自己資金、そして工作機械などの大きい

設備は設備貸与制度と、金融を使い分けています。

Q. 業績を大きく伸ばしている理由は？

売上の伸びについては、自己努力ももちろんしていますが、設備導入によるところも大きいですね。

当社は、他社と比べグレードの高い機械(スイスのアジェ社など)を使用しています。もちろん、価格も他の業者が使っている機械の2倍、3倍はしますので、設備貸与制度がたいへん役に立っています。

当初は(他でも使っているような)安価な機械で操業しようと考えていましたが、やはりそれでは精度が出ません。多少高くても精度が出せる機械を導入し、他社との差別化を図ることが大切だと思っています。

また、高価な機械は「持ち」も違います。普通の機械は6~7年も経てばまず使えなくなりますが、高価な機械なら6~7年経ってもまだまだ十分使えるし、精度が落ちることもありません。



藤原代表取締役

(株)ベスト

創業:平成10年1月

従業員数:20名

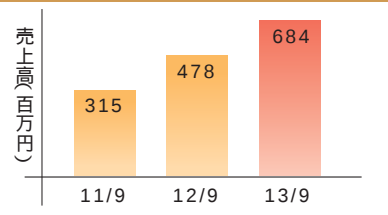
資本金:1,650万円

所在地:北上市藤沢

3-179-1

業種:超精密金型製作、
プレス加工

(株)ベストの過去3カ年度の売上



現在、製造業は構造が激しく変化していて、組み立てなどの軽易な仕事は中国に移行しています。日本国内では、中国にまねできないような精度の高い仕事をやった方がいいし、当社もそうすることで業績を上げています。

Q. 今後のセンターに望むことは？

設備を貸与するだけでなく、“中小企業のナビゲーション”的役割を果たしてほしいですね。

Q. 今後の見通しを教えてください。

当社ではソニーやカシオなど大手からの超精密な仕事を受注しています。業務は拡大しており、将来は中国など海外進出も視野に入れていますし、そうならざるを得ないでしょう。中国は税制優遇などで企業をどんどん誘致しています。日本は、そういうところがまだまだ遅れている。次々と手を打っていかないと、日本、特に岩手のようなところは危ないと思います。

また、中国も今は情報社会です。欧米の情報もどんどん流れてきています。中国国内向けの製品でも、中国の人々は今や日本製品より欧米製品に注目しはじめている。もう中国の人は情報を手にしているのです。情報を手中に収めた中国の力はあなどれません。

我々も、待っていては仕事は来ない。どんどん攻めていかないといけないと思っています。

